

作成年月日： 2020年 5月 7日（Ver.1.0）

久留米大学医学部医学科では、教育の一環で学生さんから取得したアンケート結果等を使用して下記の研究を行っています。本研究で使用される情報等は他機関への提供は行いません。

なお、下記研究は久留米大学の倫理委員会にて「社会的に重要性が高い研究」等の特段の理由が認められ、研究機関長の承認を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡下さい。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。**本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。**なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】 LTD型 PBL テュートリアルの有効性に関する実証的研究

【情報の対象者（研究対象者）】

令和2年度から6年度までに必修科目「協同学習」を受講する久留米大学医学部医学科生1年生年間約120名、5年間で総数700名程度

【情報等の項目】

令和2年度～6年度の5年間において通常全13回で構成される「協同学習」のうち、下記アンケート調査結果

- 1) 【13回全ての授業終了時における紙またはweb版「授業記録紙」による調査】
- 2) 【初回（事前調査）と、4回（中間調査）、および12回（事後調査）の授業時におこなう紙またはweb版同一質問紙を用いて行う調査】

【研究目的】

上記の情報を使用し、医学科において10年以上実施されている教育スタイルで、前向きに問題を検討・打開・改善する教育方法として導入したLTD型授業モデルにそった授業科目「協同学習」の授業内容の有効性を評価し、論文化することを目指す。

【研究（利用）期間】 久留米大学倫理委員会承認後から令和7年4月まで

【利益相反に関する事項】

本研究は特定企業からの資金援助はないため利益相反は発生しません

【問い合わせ先】

研究責任者（使用する情報の管理責任者）：久留米大学医学部解剖学講座 教授 中村 桂一郎

問い合わせ担当者：久留米大学医学部解剖学講座 教授 中村 桂一郎

電話: 0942-31-7541

E-mail: ana2nkmr@med.kurume-u.ac.jp